



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／竹村 一幸
- 副会長／小野 仁 中畑 隆一
- 幹事／小口 泰史
- 会報・雑誌・広報委員長／坂井 忠彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939 ・ URL:http://okayarc.org ・ E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2310 回例会 2006 年（平成 18 年）10 月 3 日（火）

司 会：宮坂 伸 齊 唱：君が代、奉仕の理想
点 鐘：竹村一幸 ラッキーNo.：No.11 宮坂宥洪
皆 勤 祝：今井 紅 2 年 演 奏：紅葉、学生時代
誕 生 祝：武井利夫、白鳥修次、中畑隆一、平沢清文、林裕彦



会長挨拶

厳しい残暑から一変し、すっかり秋が深まって参りました。神が出雲に集まる「神無月」です。

先週はガバナー公式訪問例会で苦難な関所を越えました。今年度は会長エレクト・次期幹事さんも同席の懇談会で 1 時間 30 分と密度の高い多くの指導を受けました。今期スタート時から課題に上っている「一日 100 円運動」もガバナーの重点目標になっており、諏訪グループの各クラブも前向きに取り組みを始めており、当クラブも米山と財団の委員長さんと具体的な方策を立てて行きたいと思っております。

先般、第一回の 50 周年記念事業プロジェクト委員会を開催し、委員会名を第 47 期 50 周年事業準備委員会とし、委員長にはクラブ奉仕委員長の中畑隆一さんに就任して頂き、プログラムの骨子をつくり次年度に渡していきます。もう一つの懸案事業で友好クラブ設立ですが協議の結果、新潟の新井 RC に打診していく事に決定致しました。11 月末までには災害のお礼を兼ねて行って来たいと考えております。

来年 3/4 と 4/15 に開催が決まっている諏訪グループ IM の実行委員会を理事会で決定し、実行委員長に浜俊弘さんが就任され、実行委員会はガバナー補佐、補佐幹事、クラブ役員・理事で構成します。また、早くも次期役員及び理事指名委員会の立上げの時期を迎えました。委員長に直前会長の濱透さん、委員に杉田隆夫さん、浜俊弘さん、高木昭好さん、大橋正明さん、矢島進さん、小口泰史さん、牛山幸一さんと竹村の 9 名です。よろしくお願ひします。以上のように多くの事業が山積しておりますのでご協力をお願いします。

次期役員及び理事指名委員会 濱透 委員長

次期役員及び理事候補者の立候補又は推薦を次週例会前(10/10)まで受け付けます。立候補、推薦をされる方は委員会まで申し出てください。よろしくお願ひします。

幹事報告

- ・次週 10/10 の例会は清掃例会です。集合場所は諏訪湖ハイツ、時間は通常通りです。お間違いのない様にお願いします。
- ・本日の理事会にて宮坂宥澄さんの所属委員会が親睦委員会に決まりました。

委員会報告

- ・**社会奉仕委員会** 10/28(土)に福祉バザーがおかや総合福祉センターにて行われます。そのバザーへの出品依頼が着ております。生活用品、衣食住に関するもので中古、名入れ品以外の物。10/20(金)までにホテル岡谷のフロント又は事務局までお届け下さい。ご協力お願いします。また、先の例会にてお願いしましたが、10/15(日)午前 6:30、雨天中止(小雨決行)に行われる諏訪湖周一斉清掃はヘルシーパル岡谷南側湖畔・公園(温泉スタンド裏)に集合です。よろしくお願いします。
- ・**IT委員会** IT委員会ではパソコンを利用して会員間のコミュニケーションをより図る事を進めています。その一環として誕生祝、結婚祝の当日にヤフーのグリーティングカードをインターネットで今月よりお届けする事にしました。また、ご意見等があれば、委員会に申し出て頂きますよう、よろしくお願いします。



卓話 「相場とともに」

小松 洋司 会員

みなさんこんにちは、八十二銀行岡谷支店長の小松でございます。大変光栄なことに今日は皆様の前でお話させていただく機会を頂戴いたしました。テーマは銀行員生活を通じて関りの長かった国際業務について、その時々の方場の話もオーバーラップさせながらお話するというので、「相場とともに」とさせて頂きました。

まずは岡谷と私との関りから話を始めます。2月に当地へ転勤して参りましたが、実は岡谷との出会いは今から20年前の86年(昭和61年)の秋に遡ります。当時私は4月にオープンした八十二銀行香港駐在員事務所で、県内から進出されるお取引先のお手伝をする仕事をしておりました。

そんな時香港を訪問された岡谷市、岡谷商工会議所の視察団総勢20名の皆さんをご案内したことがございました。86年といえば前年85年9月の有名なプラザ合意以降、急速な円高(1ドル=240円→120円)が進行する最中のことです。輸出競争力低下が懸念され、日本のモノづくりに暗雲がたちこめ、企業では海外進出を真剣に考え始めた頃かと思えます。ご来港いただいた視察団の皆様からは真剣で、差し迫った危機意識をひしひしと感じました。駐在員事務所開設以来、これだけの規模の視察団は初めてのことであり、時機をえた企画と発想に岡谷の経営者の皆様の進取の気性を見た思いが致しました。

このように急激な円高下で岡谷との出会いがあったように、10年におよぶ国際業

務との関りは、言い換えれば時々の「相場」との関りでもあったように思います。ところで今後の相場に、ひいては今後の経済の行方に影響が予想される発表がありました。今日の日経朝刊の掲載記事でありご承知のニュースとは思いますがご紹介いたします。

昨日、10月2日に日本銀行は9月の日銀短観を発表いたしました。設備投資・雇用が好調なことから、企業の景況感を示す業況判断指数（DI）は2期連続で改善しております。市場は7月のゼロ金利解除の経済動向と日銀の追加利上げの時機を占う上で注目しておりましたが、足元の景気は強いという数字が出てきたこととなります。これを受けて株式相場（16,254円29銭）、長期金利（10年国債、1.725%）はともに上昇して1ヶ月ぶりの高水準となりました。

ただし、内容をさらに細かく見れば、中小企業の景況判断は前回比で低下しており、先行きについても弱気な見方をしていることが分かります。どうしても大企業にスポットが当たることが多い訳ですが、大都市圏と地方、大企業と中小企業では景気に温度差があると常々私どもが感じていることの証左を思わせる内容です。従って市場関係者の相場・景気見通しを見ると、中小企業の業績・景況感から長期金利の大幅・急激な上昇はないと見るエコノミストもおります。

さて、私自身の話に戻りますが、国際業務に関った時期で言えば天国と地獄の両サイドを経験したのかなと思っております。先ほどお話した香港時代、東京で前任の神谷と席を並べたデラー時代（86年～90年）はバブル経済の真只中でした。ジャパン・アズ・ナンバーワンといわれ邦銀のステータスは多角、バブルに乗じた投機的な世相のなかで、海外拠点の設立やディーリング業務という日の当たる時代だったと思います。

一方、2度目の勤務（97年～01年）はアジア通貨危機、日本の金融危機、それともなう国際業務の縮小の時代で、せっかく作った海外拠点（ニューヨーク支店、ロンドン駐在員事務所）を閉鎖して、資産を処分するという言わばバブル崩壊後の後始末の時代でした。

海外でのエピソードや相場での勝った、負けたのお話は次の機会ということで、時間となりましたので私の卓話を終わりとさせていただきます。ご静聴誠にありがとうございました。

ニコニコボックス

太田博久・藤森睦美・吉江信介・山崎典夫・井上保子・小野仁・濱透・大橋正明・
矢島進 小松洋司会員、本日の卓話よろしく申し上げます。
小松洋司・宮沢由己・山岸邦太郎・林靖高・小松正二 きのこ、大豊作でした。
矢島實 本日、ハイブリットのトラックを納車しました。
浜俊弘 浜新聞店創立 100 周年に合せ、茅野中央病院の鎌田先生の記念講演を行
ったところ大勢の方に出席頂き、成功裏に終了できました。
高木昭好 10 月 28 日(土)に岡谷せせらぎ会の第 52 回リサイタルがあります。

高木昭好会員よりお知らせ

10/28(土)PM6:30 よりカノラホールにて岡谷せせらぎ会リサイタル(モーツァルト,
日本の名曲メドレー, マンマ・ミーア!)を是非見に来て頂きたいと思ひます。

出席報告

会員数 51 名、出席者 40 名、出席率 78.43%、前々回訂正 88.24%

2006-2007 年度 RI テーマ
率先しよう
LEAD THE WAY

